



員が講師となって研修会を行う公民館（熊本県）」など全国各地の若い人たちを呼び込む公民館事業からどのような変化が生まれたのか、現地視察や住民との交流で見てきた公民館の可能性について話されました。また、「公民館はコスパ最強」であり、地域の人々の得意を生かすことで、様々な活動を展開することができる施設であると話されました。

【研修3】〈演習〉「わたしの若者集め大作戦！」

社会教育総合センター調査・研修班 社会教育主事 瀬之口 紘史



ワールドカフェ方式で「若い人たちを呼び込むにはどうすればよいか」について話し合いました。その後、参加者には登壇者の発表や話し合いを参考に、担当する公民館でできることを考えてもらいました。

参加者は他地域の公民館の事情を聞きながら、新しいアイデアを多く吸収し、現在抱えている課題の解決に向けた具体的なヒントを得ることができました。

参加者の声

—事例発表—

- ・刺激になりました。講師のエネルギーが伝わってきました。柔軟な思考で行きたいと思いました。ともかく、ワクワクしていこうと思いました。
- ・公民館が人やモノをつなぐことでこんなにも可能性が広がるのだと思いました。
- ・柔軟な考え方、型にはめすぎない方法は学びになりました。

—講話—

- ・全国に色々な公民館があり、それらの紹介やご自身のことなど、知れてとてもよかったですと思いました。
- ・わさびちゃんの鋭い視点と豊かなアイデアにとっても刺激を頂きました。自分のフィールドにあった事業に反映させていきたいと思いました。
- ・“公民館の無限の可能性、伸びしろ”を事業に係る自分自身がまずたくさん知り、伝えていきたいと思いました。

—演習—

- ・自分一人では、全く考えつかないことを知れたり、気付かないことを教えてもらったり話すことでわかることがたくさんありました。
- ・色んな人と話をするので、たくさんアイデアが湧いてきました。

—全体を通して—

- ・一日を通して、たくさん学びがありました。どのお話も大変に勉強になりました。演習もたくさんの方とお話しできてよかったです。
- ・実施できそうな講座を思いつくことができました。一方的な講習ではなく、ワークショップ形式でとても実になりました。